

# 年頭のあいさつ



小城市議会  
議長 中島 正之

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
市民の皆様には、希望に満ちた新春をお健やかに迎えのこ  
とと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より、市政の発展と議会運営に対してご理解とご  
協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

さて、現在、地方自治体では、長引く景気の低迷や少子高齢  
社会の到来など、さまざまな課題に直面し、今まさに、まちづ  
くりのあり方そのものが大きく問われております。

こうした厳しい環境を乗り越え、魅力あるまちづくりを進め  
ていくためには、時代を見据えた情報分析に力点を置き、市執  
行部と互いに知恵を出し合いながら市民参画の市政運営に取り  
組まなければならないと考えております。

新たな年を迎え、市議会といたしましても、その役割と責任  
の重さを自覚し、決意も新たに市議会の活性化と改革に取り組  
み、小城市をさらに魅力ある「まち」にするため全力を尽くし  
てまいります。

どうかこれからも力強いご支援、ご協力をお願い申し上げま  
すとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年にあ  
たってのご挨拶とさせていただきます。

## 平成25年度一般会計

補正予算 (第4号)

# 2億486万4千円

平成25年12月定例会は11月29日から12月18日までの20日間開催され、8つの決算認定を含む23の議案および請願1件が提出され、慎重審議の上、可決された。

歳出の主なものは保育士の人材確保対策、農地集積や分散化した農地の連担化（面的な集積）に係る経費および牛津公民館等改修に係る実施設計費などである。

### 主な事業

#### 農地集積推進事業

(120万円)

地域の中心となる経営  
体への農地集積や分散化  
した農地の連担化のため、  
農地利用集積円滑化  
団体（佐賀県は佐賀県農  
業協同組合）を通じて農  
地集積に協力する農地の  
出し手に対して、農地集  
積協力を交付する。



#### 公共下水道事業 (小城処理区)

(1億4,960万円)

家庭や事業所から排出  
される汚水を浄化するこ  
とで公共水域の水質保全  
を図ると共に、水洗トイレ  
の設置により衛生的で

快適な生活環境を創出するため下水道を整備する。

### 保育士等処遇改善 臨時特例事業

(987万円)

保育士の人材確保対策を推進する一環として、保育士等の処遇改善に取り組み市内の私立保育園、認定こども園(保育園部門)に資金の交付を行うことにより、保育士の確保を進める。



### 牛津公民館等 改修事業

(1,734万円)

現牛津公民館の機能を旧議会棟へ移設することに伴い、安全で快適な施設改修を行う。また、旧牛津庁舎跡地の整備及び現牛津公民館の一部改修を行う。

## 意見書

(第7号)

佐賀県による消防防災ヘリの導入運用を求め  
る意見書

可決

(第8号)

特定秘密の保護に関する  
法律案の廃案を求め  
る意見書

否決

(第9号)

長崎新幹線「西九州ルー  
ト」のフル規格化への  
協議を求める意見書

可決

(第10号)

総合的な農業政策の確  
立に関する意見書

可決

## 請願

(第1号)

「こころの健康を守り  
推進する基本法」の制定  
を求める意見書提出に関  
する請願。  
全員賛成で採択した。

# 平成24年度 一般会計・特別会計・企業会計 決算を認定

9月30日から10月10日までの11日間にわたり、平成24年度一般会計・特別会計・企業会計の決算審査特別委員会を開き、慎重に審査した。質疑の一部を以下に記載した。

### 財政健全化へ向け た中期財政計画 について

**問** 学校建設や下水道事業など大型事業が今後も続くが、税収の停滞や、27年度からの交付税の大幅減に伴い中期財政計画を立て財政の健全化を図るべきでは。

**答** 国の合併特例債借入期間の5年延長を受けて、中長期的な財政見通しを策定すべく今後の事業計画を各課から聴取し、経営戦略会議において協議し財政計画を見直し、借入延長の前提条件となる新市まちづくり審議会で審議、議会にも事前に説明をしていきたい。

### 未収金対策に努めよ

**問** 市税、国民健康保険税、上下水道料、市営住宅使用料等において、多額の収入未済額が見受けられる。善良な納税者との公平性を欠くこととなるので、引き続き努力すべきだ。

**答** 滞納者へは財産調査等を実施し、差押えが可能な方は、積極的に

財産の差押えを行い、結果差押え等の件数の増加により市税等の未収金についても徐々にではあるが効果も表れている。納期内に納税・納付されている方々に不信感や不公平感を持たないよう、今後も未収金対策に取り組みでいく。税収では納付率が前年比1.4%改善し未済額が7,300万円減少、国保税においては納付率が前年比2.6%改善し、未済額が6,800万円(15.4%)減少。ただ、未収額が市税と国保合わせて7億3千万円程度あり、今後も更に減らす努力をしていく。

### イベント等の 費用対効果は

**問** 各部・各課で様々なイベントを開催しているが、参加人員の目標を決め集客に努力すべきだ。特に商工観光課の所管するイベントについては経済効果の把握はされているのか。

**答** 市内イベントは様々な媒体を使いながらPRをしている。

### 巡回バスの効率的 運行について

**問** 本庁舎移行に伴った市民のニーズに配慮するために、また乗車率を向上させるためにも更なる運行計画の検討を。

**答** 本庁舎移行により、市民の移動パターンも変化している。旧町単位で編成していた路線を見直し、今後は利用者の絞り込み、高齢者の方々の要望が高い医療施設やショッピングセンターなど目的に応じた路線の設定も必要な視点だと思ふ。

## 各種検診（健）診について

**問** 市民の健康増進について様々な施策を実施されていることは評価するが、各種検診の受診率が実績としてあがらない。受診率向上に向けて今後の改善対策は。

**答** 具合が悪い時には医療機関で受診するの  
でよい、体に異常がない、時間がない、面倒だと色々受診しない理由のアンケート結果が出ているが、①受診者個人への通知書の送付（再通知・再々通知）し受診の機会を増やす②医療機関との連携を図り、医者に直接受診を勧奨してもらうよう依頼③農協、漁協の組合員会議等に出向き検診の目的を説明。企業による検診の推進などあらゆる場所、機会、直接的に未受診者に働きかけるなどしながら受診率向上を図っていききたい。

## 学力向上対策について

**問** 学力向上研究会で真摯に取り組まれてい

るのは評価できるが、児童の学力向上に結果が出ていない。今後、ICT（情報通信技術）を活用し更なる学力向上に努められたい。

**答** 全国学力・学習状況調査結果では、小中とも基本的な知識や技能の習得について、おおむね達成しているが、応用に関する力に課題があるという結果が出、学力向上の取り組みとして、校内研究の充実、全教職員が一堂に会した市教育研究大会を実施し、教師相互の研究協議を深め、指導方法の工夫・改善による授業の質の向上を図り、子どもたちの学力の定着や向上をめざしている。24年度からICTの活用を始め9月までに学習者用端末の導入も終了し、ICT利活用のための環境整備が整い、これまで教職員の機器操作のレベルアップを図ってきたが、今後は、機器を利活用して、子どもたちがよく分かる楽しい授業づくりを努めたい。更に学力向上を図るには、家庭学習の充実が不可欠、市では家庭教育指針を学校ごとに作成し、家庭での学習習慣の定着を図る

## 中心市街地活性化事業について

取り組みをより一層図っていききたい。

**問** チャレンジ起業家支援事業などに補助金を交付されているが、支援終了後に開業に至らなかったり、空き店舗対策事業補助金でも期間満了前に止められたりしている。補助金交付については成果が出るような施策を講じてほしい。

**答** チャレンジ起業家支援事業については、従来の月例経営報告会や経営研修会を更に充実させ、経営指導と並行して開業に向けた立地場所の検討や資金計画、広報計画等の作成に当たったの相談会等の、より実践的な育成・開業支援プログラムにより事業を実施し、チャレンジャーの方全員が中心市街地に独立開業できるように成果を上げるよう、実施主体の商工会議所との連携を取りながら取り組んでいきたい。また、空き店舗対策支援事業についても、事前相談会や審査委員会において、特に事業採算性

や継続性の事項について慎重な検討・審査を行い、25年度新規採択の補助事業者から新たに毎月、経営報告書の提出を求め、経営状況の把握に努めるとともに、商工会議所等の協力も得ながら適切な指導・助言を行うことにした。

## 下水道事業について

**問** 全体的に見て不納欠損額も減少している。分担金、負担金、使用料の未納額も減少して向上しているように見受けられるが、接続率の向上についての見通しは。

**答** 不納欠損、受益者分担金・負担金、使用料については、未納者へ戸別訪問を行い、面会し経済状況などの把握に努めながら、分割納付など納付能力に応じた納付を行ってもらうよう努めている。接続率は23年度より2%向上し24年度末で63.4%という現状。接続率の向上対策としては、19年度から行っている職員2人1組での戸別訪問を行い、未接続の最も多い経済的な理由に鑑

み、下水道等宅内改造積立補助金の活用も併せた接続促進の願いをしている。また、小学校への下水道出前講座を実施し、下水道の必要性を勉強してもらい家庭での話題につなげてもらうようにしている。25年度では、接続率の低い芦刈、堀江処理区の重点的な戸別訪問を行い、下水道事業の趣旨である公共水域の水質保全を図ることにご理解をいただけるよう努力をしている。

## 水道料金について

**問** 制度上2つの企業体が一緒になることはできないが、市民の中で水の価格に対する不公平感は根強くある。これにどう対処するのか。人口減少の中、水道の売り上げ向上をどのように実践するのか。また、施設の老朽化や耐震化への対処は。

**答** 市には西佐賀水道企業団と小城市水道の2つの事業体があるが、給水区域・水源、給水方法が違っていることで経費等に違いが生じてい

る。西佐賀水道企業団には企業努力をしていただき、相当の料金の引き下げをやっていただいている。小城市水道においては、既存企業の撤退等により収益が減少、25年5月分から約8%の料金値上げを行い維持・管理をやっているが、格差是正については西佐賀と協議を行いながら努めている。水道の売り上げ向上は今後の下水道の普及、工場団地の誘致による給水量の増加の期待はいくらかできるかと思っ

